

(2)

会談関係

0140

0120

RA'-0189

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

極秘

解 第12回公使

アジア経済協力
アジア局第四課長
経済局第四課長

アジア局長

オシシハ号

昭和三十三年十月四日

總務参事官

在シンガポール總領事 二宮 謙

外務大臣臨時代理

内閣總理大臣 岸 信介 殿

岸内閣總理大臣の第二次東南アジア及びオーストラリア、
ニューゼaland訪問の件

九月六日付五總合第一二七八号極秘貴信を以て御来示のあった
岸總理と当り首脳との会談において予想される議題に關し
左記のとおり御報告申し上げます。

在外公館

記 帖 了

0141

319

回覧番号
ア総 189

記

一、冒頭引用貴信所載各々共通議題のうち特にマラヤ連邦
及びシンガポールにおいて先方から提起されると予想される事項は
(一) 共產主義 (二) 中共との国交 (三) 中共の國連加盟
(四) 台湾問題 (五) 中共貿易 (六) AA会議 (七) SEATO
(八) アレクサンダー基金 (九) 等と関係される。
(2) 右の他先方から提起されると予想される問題及びそのうち
1) 日本はマラヤ連邦の經濟開発に對しいかなる經濟協力を提
供することかできるか
(2) 特に農業(米栽培) 漁業及び鉱業(鉄鉱石)の部
門に對し、わが方からの技術指導や又組合事業等へ
参加が得られるか
(3) 中小企業、その他工業の育成に對し、わが方の技術指導

在外公館

0142

除
解
第12回公開

電信号

昭和三二

一九一九三

略

シンガポール

本

一月二七日二〇五発

直送

山 大 臣

日 向 総 領 事

第一四七号

(岸総理の総督等との会談要旨の件)

岸総理一行の訪問は二十六日滞りなく終了したが、総理の(一)総督との会談、(二)首席閣僚との会談および(三)総弁務官との会談要旨左のとおり。

(一)総理より藤山外相の訪英を契機とする日・英協力関係の増進の必要を説かれたるに、総督は同感の意を表明し、アジアの共産勢力を阻止するためアジアの自由諸国が協力する要あり、またアジアの生活水準を高めるため技術協力により産業を興すべきなりとし、この分野にての日本の役割りは重要なりと述べ、総理より全く同感にて特に日本はマラヤ、シンガポールの繁栄に

又は合弁事業への参加が得られるか、
二、わが方から提起するを適当に思われる事項
三、わが方から提起するを適当に思われる事項
四、わが方から提起するを適当に思われる事項
五、わが方から提起するを適当に思われる事項
六、わが方から提起するを適当に思われる事項
七、わが方から提起するを適当に思われる事項
八、わが方から提起するを適当に思われる事項
九、わが方から提起するを適当に思われる事項
十、わが方から提起するを適当に思われる事項
十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
二十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
三十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
四十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
五十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
六十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
七十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
八十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十一、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十二、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十三、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十四、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十五、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十六、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十七、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十八、わが方から提起するを適当に思われる事項
九十九、わが方から提起するを適当に思われる事項
一百、わが方から提起するを適当に思われる事項

本信号送付先 マラヤ連邦

在外公館

0143

0144

記帖了

RA'-0189

0122

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

秘

解除
第12回公開

電信写

(第一四七号の三)

ととろである述べた(会談後打合せの上首席閣僚事務局より、別電の新開発表を行った)。
(三) 総弁務官より、アジア開発基金につき質問し、総理より各国の反響は悪くなく、基金の必要を説かれ、総弁務官も同感の意を表し、自給車、経貨等中共製品のシンガポール進出につき説明あり、総理より右を防止するためにもアジアの自由諸国の繁栄が先決にて、シンガポールにも自給できる如き産業を興す必要ありと述べられ、総弁務官も同感の意を表した。
(亜総へ写交付済 電信課)

(了)

配布先 大臣、次官、官房長、局長、次参、総、亜総、四
面協、欧二経総、商、調四情、二旅、審、経審、大阪

外務省

0146

秘

解除
第12回公開

電信写

寄与したと述べた。

(二) 総理よりシンガポールの独立が順調に進められていることに祝意を表され、アジアの繁栄に関心を有するものとしてシンガポールの工業化に協力したと述べられたところ、首席閣僚は右に謝意を表しアジアの先進国たる日本はアジアの諸国のかしらとしてアジアの共栄のため尽力ありたく、特に技術援助を大いに期待するところであり、現に舗街詰工場、セメント、肥料工場、の設置計画は全額日本よりの資本でも企業を興したと述べた次に総理よりシンガポールにおける商社支店設置、入国査証等につきわが方も自給すべきもフリクションなきよういたしたいと述べたのに対し、首席閣僚は、日本商社の支店設置、または商人入国につき地方的に歓迎しない向もあるが、右は個々の商社同士の利権争いでなんら政治的なものではない、日本とシンガポールの友好関係の増進は自らも強く希望する

外務省

0145

RA'-0189

0123

電信写

This morning Prime Minister of Japan, paid official call on Chief Minister of Singapore. During friendly and informal discussions Prime Minister again expressed his appreciation of welcome extended to him and his felicitations on achievement of Self Government to be realised next year. He expressed hope Singapore would increase its strength in political, economic and cultural spheres and looked forward to close relationships between two countries in shipping and commerce. He offered any assistance which would be acceptable in industrialization of Singapore. Japan seeks to play its part in bringing Asian countries together and in common task of helping to develop under developed countries of Asia. Chief Minister welcomed offer of high standard of technical assistance drawn from experience and achievement of industry in Japan. He appreciated that it was Prime Minister himself who brought to Singapore these messages of goodwill and offers of technical assistance. Discussions mainly covered commercial and industrial matters and concluded with personal invitation from Prime Minister to send strong group to Asian games in Tokyo

(第一四八号の二)

外務省

0148

電信写

昭和三十一年九月二日 平
本 シンガポール 一月二十七日一〇〇〇発
二七日一三〇七着
藤山大臣
（岸総理の総督等との会談要旨の件）
第一四八号（別電）
（以下別紙英文）
（亜総へ写交付済） 電信課
配布先 大臣、次官、官房長、局長、次参、総、亜総、四
、欧三経、商、調、四情、三旅、審、経審、大阪
日 向 総領事

ア総 1819

亜総

外務省

記貼了

0147

RA'-0189

0124

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

除
解
第12回公開

第一課長
第二課長
第三課長
第四課長

アジア局長
三宅参事官
総務参事官
オセロ
昭和三十三年十二月五日
在シンガポール総領事 日向精藏

外務大臣 藤山愛一郎 殿

岸総理大臣と当地首脳者との会談に關する件
岸総理大臣と当地首脳者との会談に付てはさきに電報を以
て要旨を報告して置いたがその詳細は左の通りである。
一、岸総理大臣は愛知官房長官、松本政務次官を帶同
十二月廿五日午後六時四十五分サー・ロバート・ブラック 新嘉坡總領
事官邸に訪問した。本官隨行した。

1/1 記帖了 0150

電信
写

(第一四八号の三)

in 1958. Invitation was warmly accepted.

(了)

外務省 0149

ブラウ総督は一日を理由に案内し岸總理一行の宿をぬき
 うつた後シカポール訪問に何等か特別の使命を有せられる
 ヤと由み岸總理より特に用務はなく日本とシカポールとの間
 の友好関係増進のための good will mission であると言へる
 れ日英関係に言及九月末の藤山外相の訪英により日英関
 係は益々友好関係の増進に向うこととなつたことを喜ぶ次第
 にて日本がアジアに於て英國と相携へアジアの繁栄を計り
 たいと述べられた処ブラウ総督は自今も日英関係の友好親
 善関係の増進を強く希望するものにてアジアに於ける共産
 勢力は漸次力を強めつつある次第に付之を阻止することは英
 にとり重大関心事でありアジアの自由諸邦が経済的に強力と
 なり共産勢力に乘ずる余地をからしめる指努力するは要あり
 自今加せきシカポールに産業を興すことを唱へたのもシカポ

在外公館

ールの人口増加、失業問題におし地方産業を興し経済不安
 を除去する意図にあたりと述べたに於て岸總理より
 共産勢力に對抗し我々自由諸邦は協力する要ありシカ
 ポールの産業化にも協力致し度いと述べ最後に岸總理は
 リ總督が香港に來転されることを喜び總督の成功と健
 康を祝して友好裡に会談を終了した。(約四十分)
 二、十月廿六日午前十時岸總理大臣は愛知官邸長官、
 松本政務次官、土井大臣、林有造、福首、席田、藤澤を議会の
 オフィスに訪問した。本官随員随行した。
 先づ總理よりシカポールの繁栄を喜びシカポールに着
 平和裡に独立運動が盛んを述べている事に祝辞を述べられ
 た後日本とシカポールの協力関係の増進につき希望を述べ
 特にシカポールの工業化に日本として寄與する方面あらは

在外公館

であるといふは、先般首相閣僚は日本はアラビヤに於て最も進歩した國であり、我々アラビヤ諸民族は日本を頭 (Head of the family) としてアラビヤの復興、繁栄栄のために努力しなればならぬと思ふ。特に共産勢力のマレ、シカホルへの侵進にも鑑み経済的に充分強くなり共産勢力を阻止する必要がある。是迄アラビヤ諸民族はばらばらで後進あり現状からぬけきれない。アラビヤ民族は協同仲 (Asian Solidarity) を作つて世界に有力な force を持たなければならぬと述べて日本からシカホルの繁栄に協力しなうとの總理の演説は感謝する処であつて現に錫蘭工場、セメント工場、肥料工場等の計画が民間にあり日本が積極的に技術、資本金を以て参加することを期待する。百%日本の資本で工場を設けその利益を日本に送らねばならぬ。自らは日本の資本や工場に制限を課するつもりは

在外公館

0153

ないといふへ更に總理よりシカホルに日本の銀行、商社が支店を設け活動しているが之等の事業活動が時に統制なく非難を招いた例を備へるが日本の方でも自制すべきに充分命令好意的に見てほしいと述べてくれたのに対し首相閣僚は日本の支店活動がやむとすると地方の商人の既得権を侵害し、フリクションがあると聞いているが此の点もシカホル政府が政治的意図を以て日本商社の活動を制限することは考へていない。商人間の商業上の利益の衝突はよくあることである。自らは *Healthy competition* を希望しているが日本の商社の進出は注意深く行はれることを希望すると述べて最後に總理より昨年の東京のアー・オリンピック大会に当地からも強力なチームを送つてほしいと述べられ和気あふ、裡に会談を終了した。(終三十人)

三、廿五日正午、岸總理大臣は愛知官庁長官、松本政務

在外公館

0154

次官を帯同し、スコット総弁務官をオフィスに訪
問した。本官随員した。

先スコット総弁務官より一行の予定をねがうた後、東
アフリカ基金に対する各々の反響につき質問し、総理より
自身の想つた国の反響は悪くなくアフリカの経済復興のため
是非此の基金を實現したいと述べられた。スコット総弁務
官は自命令もアフリカの繁栄のため基金の構想は全く結構な
計画として賛成であり、實現の早きことを期待している。語り
次い総弁務官はアフリカの共産勢力を阻止する必要があるか
とアフリカの市場に中共の産業、例へば自動車、雑化具等が
進出している状況を調査したかと質問し、中共が経済
的に攻勢をとつていくことに対し何等かの防坑措置をとるや
要がありと述べた。これに対し総理より日本が南米基金を提

在外公館

0155

唱し又各々の経済協力に説くものも共産勢力に抵抗し
アフリカの繁栄をはかる趣に目に出ずるものであつて此の意味か
らアフリカの産業化に空母輸入したと述べられた。総理
は總弁務官は誠に同感であるかとアフリカは中絶港といふ
繁栄が基本であつて、此に輸出を産業を起すには当然
條件が揃はず、輸出を産業に興して保護関税をとること
は、自由港としての利益が見られ、アフリカは最悪する危
険があるといふべし。総理より中共産業に抵抗する意味
に於てもアフリカの市場をまかなう程度の地方産業
を興すことは意味あるべく日本の援助力至る可なりと
産業のための資金も技術を考へていふと答へられ、総弁務官
も日本の寄与を期待すると述べ友好裡に会談を終了した。
(終り命令)

在外公館

0156

RA'-0189

0128

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan